

# 初等中等教育機関などの名称(「〇〇 小学校.jp」や「〇〇高校.東京.jp」など) の登録について

2016年10月20日(木)

株式会社日本レジストリサービス

# 日本語ドメイン名における予約ドメイン名の今後の取扱い方針について

- 諮問背景
  - JPドメイン名では、2001年の登録受付開始時に混乱を防ぐために、誰にも登録することができない予約ドメイン名を定めた。しかし、日本語JPドメイン名の利用環境整備が進み、日本語JPドメイン名が活用されるようになりつつある。
- 諮問概要(2005年8月)
  - 予約ドメイン名について、予約を継続するべきか、または予約を解除して登録を受け付けていくべきか、またその場合の手順や留意点などについて、答申いただきたい。
- 答申概要(2006年3月) ※初等中等教育機関などの名称部分について
  - 対象教育機関以外の第三者が登録することによる混乱を防止するとともに、すべての対象教育機関に対して公平に予約ドメイン名を登録できるようにすべき。

# (参考) 予約ドメイン名 「初等中等教育機関などの名称」

- 「汎用JPドメイン名」及び「都道府県型JPドメイン名」では、以下の初等中等教育機関など(以降、学校)の名称で終わる文字列(後方一致)を登録不可としている

幼稚園	ようちえん	高校	こうこう
保育所	ほいくしょ	中等教育学校	ちゅうとうきょういくがっこう
保育園	ほいくえん	専門学校	せんもんがっこう
小学校	しょうがっこう	専修学校	せんしゅうがっこう
中学校	ちゅうがっこう	盲学校	もうがっこう
中学	ちゅうがく	養護学校	ようごがっこう
義務教育学校	ぎむきょういくがっこう	聾学校	ろうがっこう
高等学校	こうとうがっこう	支援学校	しえんがっこう

# 初等中等教育機関などの名称の登録について(1/3)

- 登録要件を、日本国内に住所を持つ学校または学校の設置者(学校法人、地方自治体など)に限定
  - 学校以外の第三者が登録することによる混乱を防止する。
  
- 通常登録(先願制)の前に一年間の周知期間と同時登録申請期間を設定
  - 学校に対して十分な周知期間を確保する。
  - 学校においては、インターネット環境の整備状況の差異やドメイン名の登録に関する検討及び手続きなどの準備に必要な時間に差異があることが考えられるため、手続きのための準備期間を確保する。

2016年10月3日(月)	登録受付に関連する資料の公開
~2017年10月1日(日)	周知期間
2017年10月2日(月)	同時登録申請の受付開始
2017年12月22日(金)	同時登録申請の受付終了
2018年2月1日(木)	通常登録申請の受付開始

# 初等中等教育機関などの名称の 登録について(2/3)

- 学校が希望する文字列での登録受付
  - 学校の視点
    - 同一の名称をもつ学校が多数存在するため、ドメイン名から学校を一意に特定できるようにし、すべての学校が同じ形で登録できるようにすることが公平性の観点から望ましいという考え方もある。
    - しかし、一意にすることにより、ドメイン名が長くなり使いにくいものになる(〇〇県〇〇市立〇〇小学校.jp)。利便性の観点から、学校名の略称も含め、学校が希望する文字列で登録を受け付ける。
      - 前述の同時登録申請期間においては、複数の申請が競合した場合、「同時登録申請者同士による協議」または「抽選」にて登録者を決定する。

# 初等中等教育機関などの名称の 登録について(3/3)

- 学校が希望する文字列での登録受付
  - インターネットユーザーの視点
    - 学校が希望する文字列で登録を受け付けた場合、学校のWebサイトを訪れたインターネットユーザーが、期待する学校のWebサイトではなく、同一の名称を持つ別の学校のWebサイトにアクセスしてしまうことが考えられる。
    - しかし、その場合でも、アクセスしたWebサイトにおいて、どこの学校であるかという記載が期待でき、インターネットユーザーの混乱は少ないと考えられる。
      - 登録要件を学校と学校の設置者に限定しているため、フィッシングなどの悪意・混乱は考えにくい。